

# 小川島鯨見張所

佐賀県・唐津市



唐津市呼子町の沖合 6 km に浮かぶ小川島を基地とする玄界の捕鯨開始については、文禄 3 年（1594 年）に当時の唐津藩主寺沢志摩守が紀州・熊野灘から漁夫を雇い、突取法による捕鯨を行なわせたのが始まりという。その後、唐津藩の保護下、網による捕鯨が盛んに行なわれたが、明治維新後は藩の保護が解かれたことにより、鯨組を中心とする捕鯨は衰退していった。明治年間に小川島捕鯨株式会社が創設されたが、明治初期に始まった南氷洋での母船式捕鯨は日本各地の近海捕鯨を圧倒し、玄海の捕鯨は昭和 36 年（1961 年）をもって終わりを上げた。

小川島鯨見張所は、山見小屋とも呼ばれ、瓦葺木造平屋建で、梁間 2.96m、桁行 7.88m、建坪 23.28m<sup>2</sup> である。小屋組は洋風様式を取り入れた大正初期の和小屋である。窓は沖合を往来する鯨の監視、発見のため、上釣り回転窓が南側に 3 門、北側に 4 門取り付けられ、風雨の強いときにも監視できるように設計されている。

鯨の供養塔が観音堂境内にあり、高さ 0.7m、幅 0.3m の船型光背を有する地藏尊石像で、「文久三亥三月吉日」の銘である。

昭和 49 年 2 月 25 日に県重要有形民俗文化財指定。

## TOPICS

・小川島祇園祭 7 月中旬開催

## お問い合わせ先

唐津市役所 呼子支所 産業課

TEL / 0955-82-3011

URL / <http://www.city.karatsu.lg.jp>

## 【交通】

バス・船 / 唐津大手口バスセンターから 35 分 呼子下車、  
定期船で 20 分

